



全
国
こ
ど
も

民
俗
芸
能
大
会

2009.8.20 [木]
日本青年館大ホール 13:30開場
14:00開演

民俗芸能で広がる 子どもの世界

国際文化交流事業～アジアの子どもたち

第6回
伝統文化
研修セミナー
2009

8.20 [木] / 21 [金]

主催 社団法人 全日本郷土芸能協会

後援 文部科学省 スリランカ民主社会主義共和国大使館 駐日韓国大使館 韓国文化院 宮城県教育委員会 静岡県教育委員会 京都府教育委員会
鳥取県教育委員会 愛媛県教育委員会 大分県教育委員会 全国民俗芸能保存振興市町村連盟 (財) 伝統文化活性化国民協会 (財) 日本青年館
日本青年団協議会 (株) 教育新聞社

助成 日本財団 社団法人東京倶楽部
* 競艇の交付金による日本財団の助成金を受けて実施します。



中国・四国ブロック ◆ 鳥取県米子市
「淀江さんご節」
宇田川青少年育成会郷土芸能部

第11回 全国こども 民俗芸能大会



関東ブロック ◆ 静岡県川根本町
「徳山の盆踊」 川根本町徳山古典芸能保存会



近畿・東海・北陸ブロック ◆ 京都府京都市
「京都の六斎念仏」
京都市立光徳小学校六斎クラブ



中国・四国ブロック ◆ 愛媛県松山市
「古三津の虎舞」
古三津子ども虎舞保存会



社団法人 全日本郷土芸能協会
理事長 菴谷 利夫

今年から新たな10年のスタートを切ることになりました「第11回全国こども民俗芸能大会」は、これまでの日本財団の助成に加え、国際文化交流事業を進めている社団法人東京倶楽部の助成を戴くことになりました。今回は南アジアのスリランカ民主社会主義共和国から「キャンディ・トラディショナル・ダンス・グループ」を招聘することとなりました。近年、世界の無形の文化遺産を保存しようという気運が高まり、ユネスコでは無形文化遺産条約に基づく一覧表への登録が、昨年より始まり今年で2回目となります。世界的な関心がこの無形文化遺産、特に民俗芸能に向けられることは大いなる喜びであります。このような時期に充実した国際文化交流の事業として、子どもたちの国際理解の一助となることが大いに期待されます。

子どもたちは、地域社会の中で生まれ、生きる力を蓄え、徐々に大人になって行きます。私たちは地域文化としての民俗芸能・郷土芸能の持つ力を強く感じております。子どもたちが民俗芸能に触れ、仲間たちや大人との世代間交流の中で生きていくうえでとても大切なことが育まれていきます。また、地域社会にとっても子どもたちは宝です。これからの地域社会を支えていくのは間違いなく彼らなのです。今年の伝統文化研修セミナーは「子どもこそが地域文化の支え」をテーマに開催されます。このセミナーは、第6回大会より本大会と併催する形で、学校や地域で民俗芸能に取り組む子どもたちの事例発表を通して、学校教育と地域社会における民俗芸能の伝承活動とのかかわり方などを探るセミナーです。

今年も各都道府県教育委員会から多く参加希望団体の推薦を頂きました。選考委員会を経て選ばれた8団体は、どの芸能もそれぞれの郷土で育まれた特色あるものです。子どもたちは郷土の誇りを胸に大いに日頃の成果を発揮してくれるものと確信しております。

最後になりましたが、文部科学省をはじめご後援を頂きました各関係団体の皆様、助成を頂きました日本財団、社団法人東京倶楽部、そして日々練習を重ねてきた子どもたちとご父兄、保存団体の皆様へ厚く御礼申し上げます。

：ごあいさつ：

出演団体選考委員会
委員長 宇野 小四郎



全国各地の地域で生まれ伝えられてきた民俗芸能を継承している子どもたちが東京に一堂に会し、その生き生きとした姿を披露してくれる「全国こども民俗芸能大会」も11回目となりました。毎年、回を重ねるごとに来場者の皆様の数も多くなり、出演団体も第1回大会は4団体でしたが、徐々に増え第8回大会より8団体となりました。

子どもたちは、日頃の練習の成果を存分に発揮します。その舞台をご覧になられた皆様のアンケートには、深い感動を覚えたことがつづられています。また、子どもたちの感想文にはこの活動が励みになり、貴重な体験として心に残ることが伺われます。今後も引き続き民俗芸能の継承に寄与してくれることでしょう。

本年は、全国47都道府県教育委員会より66団体の推薦を頂き、北海道・東北ブロックからは宮城県仙台市の湯元の田植踊保存会「秋保の田植踊」、関東ブロックから静岡県川根本町の川根本町徳山古典芸能保存会「徳山の盆踊」、近畿・東海・北陸ブロックからは京都府京都市の京都市立光徳小学校六斎クラブ「京都の六斎念仏」、中国・四国ブロックからは鳥取県米子市の宇田川青少年育成会郷土芸能部「淀江さんご節」、愛媛県松山市の古三津の子ども虎舞保存会「古三津の虎舞」、九州・沖縄ブロックからは大分県豊後大野市の清川子ども神楽保存会「御嶽神楽」、それに在日の海外芸能団体として東京都荒川区の金美福舞踊研究所「韓国の伝統芸能」など、それぞれの特色ある芸能を披露していただきます。そして今年「国際文化交流事業～アジアの子どもたち」として海外から招聘することとなり、スリランカ民主社会主義共和国からキャンディ・トラディショナル・ダンス・グループ「スリランカの伝統舞踊」の計8団体に出演して頂きます。子どもたちの国際的な相互理解の促進に寄与できる有意義な事業となりました。大変喜ばしい限りです。

また、「子どもこそが地域文化の支え」をテーマに併催される「第6回伝統文化研修セミナー」は、日本の伝統的文化・芸能と子どもたちと地域の今と未来が語られる充実した内容になっておりますので、こちらの方もどうぞお楽しみください。最後になりましたが、御後援、御助成を頂きました関係諸団体、御力添えを頂いた多くの皆様に心より御礼申し上げます。

第11回 全国こども民俗芸能大会

プログラム

オープニング

- 第一景 **淀江さんご節**
「銭太鼓」「壁塗り踊り」「傘踊り」
- 第二景 **古三津の虎舞**
「古三津の虎舞」
- 第三景 **徳山の盆踊**
「ヒーヤイ（さくら花）」「鹿ん舞」「ヒーヤイ（ぼたん）」
- 第四景 **京都の六斎念仏**
「四つ太鼓」「越後獅子」「祇園囃子」

休憩

- 第五景 **韓国の伝統芸能**
「三面太鼓舞」
- 第六景 **スリランカの伝統舞踊**
「鷲の踊り」「馬の踊り」「稲作の踊り」
- 第七景 **秋保の田植踊**
「道中囃子」「ぶっ囃子」「入羽」「二本そぞろぎ」「鈴田植」
- 第八景 **御嶽神楽**
「五穀舞」

フィナーレ

司会 斉藤みどり

出演団体選考委員会委員

委員長	宇野小四郎	現代人形劇センター顧問
委員	掛谷 昇治	日本青年館公益事業部次長
委員	城井 智子	(社)全日本郷土芸能協会専務理事
委員	小島 美子	国立歴史民俗博物館名誉教授
委員	中嶋 春洋	元国際交流基金常務理事
委員	芳賀日出男	民俗芸能写真家
委員	星野 紘	東京文化財研究所名誉研究員

第6回
伝統文化
研修セミナー
2009

1日目 8月20日 木

日本青年館・大ホール

11時 「第11回全国こども民俗芸能大会」の舞台稽古見学と解説
解説 星野 紘(東京文化財研究所名誉研究員)

14時 「第11回全国こども民俗芸能大会」公演鑑賞

2日目 8月21日 金

日本青年館・中ホール

13時 開会
主催者挨拶 理事長 菴谷利夫

◆ 基調講演
「折口信夫にみる～日本の民俗芸能と古代の心」
講師 芳賀日出男(写真家)

- ◆ 事例発表① 「鬼剣舞」 岩手県北上市
鬼柳鬼剣舞保存会 庭元 菅原晃
- 事例発表② 「杵見御田植祭」 福井県敦賀市
杵見御田植祭保存会 役員 三田村和夫
- 事例発表③ 「日本音楽をこどもたちに繋ぐ」 大阪府堺市
ことこと倶楽部 代表 上西律子
- 事例発表④ 「山之口の文弥人形」 宮崎県都城市
都城市立麓小学校 教頭 堂蘭敬子

◆ パネルディスカッション
「民俗芸能で広がる子どもの世界～子どもこそが地域文化の支え」

- ◇ コーディネーター
小島美子(国立歴史民俗博物館名誉教授)
- ◇ パネラー(予定)
飯塚欣彦(群馬県片品村教育委員会教育長)
上西律子(ことこと倶楽部代表)
星野 紘(東京文化財研究所名誉研究員)
宮崎活志(文部科学省初等中等教育局視学官)

子どもこそが
地域文化の支え



第11回

全国こども

民俗芸能大会

出演団体紹介



中国・四国ブロック ◆ 鳥取県米子市 「淀江さんこ節」

宇田川青少年育成会郷土芸能部

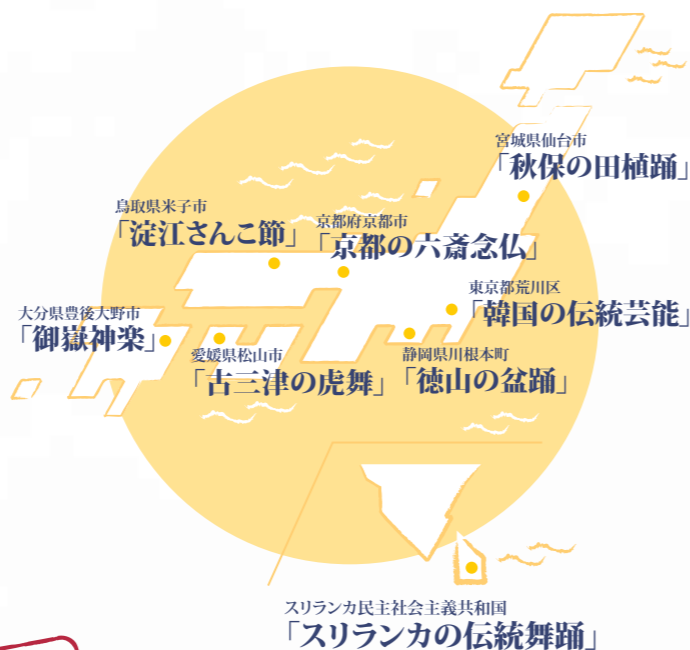
「淀江さんこ節」の起源は、約300年前にさかのぼり、北前船により淀江の港に立ち寄る船乗りたちが歌う各地の民謡がとけ合っ、淀江独特の節回しがつくられた。七七五調の歌詞と軽快なテンポで、幕末ごろには座興芸として持てはやされ、左官屋さんの作業風景をユーモラスに演じる「壁塗り踊り」、お目出度い席には欠かせない「銭太鼓」、伝統工芸の淀江傘で踊る「傘踊り」がある。宇田川青少年育成会は、淀江さんこ節保存会の指導のもと毎月第2、第4月曜日に練習会を行い、地域の文化祭や各種の大会で披露している。また、平成6年から神縄県読谷村楚辺区子ども会と芸能交流を続けてきた。

岩垣理沙子 大許結衣 植田明日香 岩垣友稀 松原未歩 瀬戸麻歌 岩垣紗季子 森田沙葉 森田彩李 小原唯可 本田和佳奈 森田勝充 小原悠平 亀田亮洗 松原直輝 森田大智 森田海姫 大丸春香 松原朱里 福留麻奈 野口将暢 森田拓希 岩垣泰喜 亀田颯斗 小原啓輔 高野百花 長川茉世 高野友希 福吉春菜 山根千尋 奥田千絵 古川彩海 石倉菜々美 富田健一郎 吹野麻耶 八木映里香 富田萌 安藤陽奈乃 山根明花 中田みなみ 堀口さくら 富田咲希

中国・四国ブロック ◆ 愛媛県松山市 「古三津の虎舞」 古三津子ども虎舞保存会

「虎舞」は、獅子舞の獅子頭のかわりに虎の頭を使う、全国的にも珍しい芸能で、青森、岩手、宮城、神奈川、静岡、香川などで伝承されている。その起源について古三津では、慶長2年(1597)2月、豊臣秀吉の第2回朝鮮出兵に加藤嘉明が伊予の勇士2400名あまりを率いて出征し、苦戦する加藤清正を助けた時に、兵士が虎に食べられたため山中で虎狩りを行い、その頭と皮を秀吉に献上し大いに喜ばれたと伊予古文書に記録されている。この虎狩りに参加した勢子の中に古三津の侍が多く、このことを地元に戻り語り継ぎ、槍や鉄砲を持つ勢子に対抗して虎が舞うという郷土芸能が生まれた。松山市三津の巖島神社の秋の祭礼で奉納されている。

山本廉 岡田拓巳 矢野二葉 高橋海二 庭瀬崇浩 澤村拓馬 矢野小春 高橋光 藤田咲来 山本累 中田彩貴 宮本和浩 矢野剛成 高橋果恋 宮本雄弥 岡田阿子 澤村圭太 藤田百香 山本耀 田中静江 山崎千代香 神岡久子



関東ブロック ◆ 静岡県川根本町 「徳山の盆踊」 川根本町徳山古典芸能保存会

「徳山の盆踊」は、「鹿ん舞」「ヒーヤイ」「狂言」の三部門から構成されており、今回は子どもたちが担当している「鹿ん舞」と「ヒーヤイ(さくら花・ぼたん)」を披露する。「鹿ん舞」はかつてその年に成人した男性が踊ったが、現在は小中学生の男子が行っている。長い角を持つ鹿の面を頭につけた牡鹿役が先頭に立ち、ふたりの雌鹿役が従う。その後方に、畑を荒らす鹿を追い立てる役目の大勢のヒョットコ面をつけた者が並ぶ。お囃子の軽快なリズムにあわせて紅白の綾棒を回しながら前後に飛び跳ねるようにして踊る。「ヒーヤイ」の名前の由来は、踊りの小唄の終りに「ヒーヤイ」という囃子詞がついているため、男が女装して踊った時代もあったが、現在は小中学生の女子が踊り手となっている。京の舞妓風のだらりの帯をしめ小唄に合わせて舞う、古歌舞伎踊りの初期の形態を残した古風で優雅な踊りである。いつの時代から継承されて来たか不詳であるが500年も前に徳山の里に伝わっていたと考えられている。

上野有紀 原田彩香 前澤怜奈 山本深月 山本美優 植田龍己 倉田亮 原田一輝 神原翼 久保田宏樹 岡田和也 梶山雅洋 高畑剛毅 秋元良太 小田大樹 渥美彰真 小野智輝 久保峻也 小川昭 高田一志 鈴木龍弥 小澤涼馬 小林竜翔 中村祐真 鈴木文昌 澤本等 桜下直也 西村三千雄 森博士 高松磯枝 松山秀子 直里まゆみ 谷村満寿江 山本廣司 中澤智義 長濱寛二郎 山下忠之

近畿・東海・北陸ブロック ◆ 京都府京都市 「京都の六斎念仏」 京都市立光徳小学校六斎クラブ

今から1100年前、京洛の街に疫病が流行し、多くの死者が出て人々が不安に陥ったとき、空也上人が鉢をならし瓢箪を叩いて念仏を唱えて街々を廻り、人々の不安を取り除いた。その後仏教の六斎日に悪鬼を治めるために念仏を唱えたことから日本各地に「六斎念仏」が始まった。江戸時代の中期以降に京都周辺の農村地域で、都会の生活に憧れる若者の流出を防ぐため多くの六斎講中が形成され、その技を競い合う内芸化され、現在京都市内で10箇所の芸能六斎が残存している。平成15年から文化庁の「伝統文化こども教室」の事業として、市内8つの小学校で「こども六斎教室」がで活動している。今回はその中で「中堂寺六斎会」の指導を受けている「京都市立光徳小学校六斎クラブ」の児童が「六斎念仏」を披露する。

坂本真悟 長谷川祥太 舟瀬翔一郎 左近美春 荒川舞子 山口真味 玉井友佳 末森綾 柏木結衣 道脇美奈 佐竹今日子 金ヶ江七海 山口遼子 山口沙季 門地優月 山西沙季 森脇遥 上田ナオ 太田萌 広江礼佳 中田未友奈 山田帆乃花 長多結梨乃 長多夏音 山西涼太 橋本治夫 光平恵 丸末理詠子



在日の海外団体 ◆ 東京都荒川区 「韓国伝統芸能」 金美福舞踊研究所

本日披露する韓国の伝統芸能「三面太鼓舞」は、太鼓舞の形態の一つである。太鼓舞は古くから伝承されており、朝鮮時代になりいろいろな形態に発展する。お寺で踊る法鼓舞、農楽で踊る太鼓舞、キバン(芸者のいるところ)で芸者が余興のために踊った太鼓舞など様々な形態で伝えられている。三面太鼓舞は、コの字型の枠に太鼓を左右と後方の三方に取り付け、太鼓の縁と真中を代わる代わるに打ちながら踊るものである。音が音を引き上げるような太鼓の音いっばいの世界と、韓国の衣裳「チマ・チョゴリ」姿の舞姫の力いっばいの動きが華麗である。躍動感あふれる動きとパチさばきの音が「三面太鼓舞」の魅力である。

高橋怜 塚越文美 桑原梨南 蘇武詩織 金美福



全国こども民俗芸能大会出演団体：

海外からの招聘団体 ◆ スリランカ民主社会主義共和国

「スリランカの伝統舞踊」 キャンディ・トラディショナル・ダンス・グループ



世界文化遺産に登録されている聖地キャンディには、仏陀の犬歯が祀られている仏歯寺があり、そのお寺のお祭り「ペラヘラ祭り」では、2500年以上踊り継がれているスリランカ伝統舞踊「キャンディアンダンス」が踊られる。その踊りは、4つの家系が受け継いできた。その中の一つがスラセーナ家で、現在の家長ピーター・スラセーナがダンス教室を主宰し、約200名の子ども達に指導、伝統舞踊の伝承と後継者の育成に努めている。今回は、この子ども達の中から10名が来日する。披露する演目は、キャンディアンダンスの中で神に由来する動物や自然を18種類の形に表現した「ワンナマ」と呼ばれる踊りから3つ「鷲の踊り」「馬の踊り」「稲作の踊り」を演じる。踊りの音楽は太鼓演奏のみで両面太鼓が使われる。

ワナンハ ダサナヤカ バンダーラ マドサンカ ヌワン・クマラ ラージャバクシャ ラナウィーラケルムデニヤ チャトラニディメル ワサラ・アラッチ ピーター・スラセーナ クムディニ・スラセーナ スサンタ・スラセーナ

平成11年度（1999年）第1回こども民俗芸能大会『キッズ21～お祭りわっしょい』

「貫井囃子」	貫井囃子保存会	(東京都小金井市)
「獅子舞」	田名八幡宮獅子舞保存会	(神奈川県相模原市)
「エイサー・獅子舞」	琉球國祭り太鼓東京支部	(東京都杉並区)
「高円寺阿波踊り」	東京飛鳥連	(東京都杉並区)
「チャッキラコ」	ちゃっくらこ保存会	(神奈川県三浦市)

平成12年度（2000年）第2回こども民俗芸能大会『こどもたちの舞い・踊り』

「雅楽」	瑞穂雅楽会	(東京都葛飾区)
「阿波踊り」	経堂むらさき連	(東京都世田谷区)
「獅子舞」	大島諏訪明神獅子舞保存会	(神奈川県相模原市)
「和太鼓」	相模龍王太鼓保存会少年部	(神奈川県相模原市)

平成13年度（2001年）第3回こども民俗芸能大会

『こどもからこどもへ～伝え継がれた神楽と踊り』

「飴屋踊り」	長井町飴屋踊り保存会	(神奈川県横須賀市)
「本海番楽」	猿倉番楽保存会	(秋田県鳥海町)
「石見神代神楽」	上府子供神楽団	(島根県浜田市)
「荒馬踊り」	世田谷リズムの会	(東京都世田谷区)

平成14年度（2002年）第4回全国こども民俗芸能大会

『北から南から選抜された芸能大集合～こどものまつり～』

北海道・東北ブロック	「下北の能舞」	白糠子ども会	(青森県東通村)
関東ブロック	「猿っ子踊り」	賀茂村宇久須柴区子供会	(静岡県賀茂村)
東京都	「稲付の餅搗唄」	稲付千本杵餅練唄・餅搗唄保存会	(東京都北区)
近畿・東海・北陸ブロック	「いさな太鼓」	太地町民芸保存会こども民芸保存部会	(和歌山県太地町)
中国・四国ブロック	「山川町神代御宝踊」	神代御宝踊保存会	(徳島県山川町)
九州・沖縄ブロック	「荷川取のクイチャー」	荷川取子ども会	(沖縄県平良市)

平成15年度（2003年）第5回全国こども民俗芸能大会

『未来へ受け継がれるふるさとの芸能大集合～こどものまつり～』

北海道・東北ブロック	「廿一田植踊」	廿一田植踊保存会	(宮城県気仙沼市)
関東ブロック	「今田人形」	竜峡中学校今田人形座	(長野県飯田市)
東京都	「仲若囃子」	仲若囃子連	(東京都練馬区)
近畿・東海・北陸ブロック	「天神祭りの獅子舞」	本郷子供会	(岐阜県上宝村)
中国・四国ブロック	「伊予万歳」	伊予万歳双葉会	(愛媛県北条市)
九州・沖縄ブロック	「庄内神楽」	庄内子供神楽愛好会	(大分県庄内町)

平成16年度（2004年）第6回全国こども民俗芸能大会

『民俗芸能で広がる子どもの世界～こどものまつり～』

北海道・東北ブロック	「根反鹿踊り」	一戸南小学校根反鹿踊り伝承クラブ	(岩手県一戸町)
関東ブロック	「鷲流狂言」	佐渡市立真野中学校	(新潟県佐渡市)
東京都	「江戸祭り囃子」	神田流神明囃子保存会	(東京都板橋区)
近畿・東海・北陸ブロック	「塩津の鯛踊り」	塩津いな踊り保存会	(和歌山県下津町)
中国・四国ブロック	「石見神楽」	有福子供神楽社中	(島根県浜田市)
九州・沖縄ブロック	「石垣川平の結願祭」	川平伝統芸能保存会	(沖縄県石垣市)

北海道・東北ブロック ◆ 宮城県仙台市

「秋保の田植踊」 湯元の田植踊保存会



「秋保の田植踊」は、湯元・長袋・馬場の3地区に伝承されており、湯元では秋保温泉に祀られている薬師堂で五穀豊穡を祈願し、田の神に奉納した手踊りが始めと言われている。また、秋保温泉はみちのく三古湯の一つに数えられ、付近に慈覚大師によって開かれたとされる修験の行場があり、全国より集まった法印山伏、東下りの芸人達により、今日の12種類の踊りが工夫されたと言われている。本踊りは、藩政時代、伊達家の藩主を始めとする身分の高い人々が来湯したおり、田植踊を所望されたため、本来の庭では踊らない「お座敷田植」として格付けされている。踊り手は道化役と口上役を兼ねた弥十郎2名、鈴振り2名、8名前後の早乙女で、笛や太鼓にのせ、田植の様子を美しく振付けた踊りを次々踊る。演目は「入羽」「一本そぞろぎ」「二本そぞろぎ」「鈴田植」「銭太鼓」「はね太鼓」などがある。もとは小正月にその年の豊作を願い踊っていたが、現在は5月5日の薬師様の祭りに奉納している。

若林李音 菊地沙貴 支倉志歩 我妻悠香 千葉麻利亜 半澤汐奈 太田美彩 若林怜可 佐藤雅敏 後藤海斗 星海慧 半澤伶侍 太田恵三 早坂菜児 玉理香子 佐藤光信 河村次男 太田弘子 佐々木光子 太田由美子 佐藤節子 大宮勝志 孫入道紀



九州・沖縄ブロック ◆ 大分県豊後大野市

「御嶽神楽」 清川子ども神楽保存会



「御嶽神楽」は、宝徳元年(1449)豊後大野市清川町に発祥したと伝わる神楽で御嶽流と呼ばれる神楽の本流である。当地における神楽とは、春や秋に行われる御幸祭には欠かせないもので、獅子舞や羽熊に先導され御飯屋に到着した神輿の前で奉納されるものである。現在33番の演目が伝えられ、それぞれ古事記等の神話をもとに構成されている。演目ごとにその舞は異なり、様々な出で立ちの神々が登場し、時には激しく時にはしなやかに神々の物語を表現する。この御嶽流神楽を受継ぐ「清川子ども神楽保存会」は、昭和56年に発足。現在メンバーは13名で毎週金曜日2時間、御嶽神楽座の指導者と厳しい練習に取り組んでいる。「楽しく 厳しく 礼儀正しく」をモットーに神楽を覚えることはもちろん、その伝統とも真剣に向き合い活動している。

佐保賢太郎 峯美咲 津高駿 佐保薫紀 阿孫信果 界佐智子 佐保綾奈 池田樹乃 国枝瑛莉香 佐保薫香 首藤綾乃 津高みずえ 日高杏美 衛藤信彰 首藤学

全国こども民俗芸能大会出演団体

平成17年度(2005年) 第7回全国こども民俗芸能大会

『民俗芸能で広がる子どもの世界～こどものまつり～』

北海道・東北ブロック	「黒川能」	櫛引町立櫛引東小学校	(山形県櫛引町)
関東ブロック	「与板民謡」	与板民謡たちばな会	(新潟県与板町)
	「廣大寺」	栃尾市立中野俣小学校	(新潟県栃尾市)
近畿・東海・北陸ブロック	「唐人踊」	子ども唐人・唐人踊を継ぐ会	(三重県津市)
中国・四国ブロック	「有田神楽」	有田こども神楽団	(広島県北広島町)
	「釜ヶ原神楽」	北門こども神楽	(山口県美和町)
九州・沖縄ブロック	「滑石竜踊」	滑石竜踊保存会子供竜踊	(長崎県長崎市)

平成18年度(2006年) 第8回全国こども民俗芸能大会

『民俗芸能で広がる子どもの世界～こどものまつり～』

北海道・東北ブロック	「鶏舞」	沢田鶏舞保存会	(青森県十和田市)
関東ブロック	「利根地固め唄」	利根地固め唄保存会	(茨城県利根町)
東京都	「八王子車人形」	八王子市立由井中学校三味線部	(東京都八王子市)
近畿・東海・北陸ブロック	「御殿万歳」	山添御殿万歳こども教室	(奈良県山添村)
中国・四国ブロック	「麒麟獅子舞・さいとりさし」	中ノ郷伝統芸能くらぶ	(鳥取県鳥取市)
	「石見大元神楽」	市木榎尾子ども神楽団	(島根県邑南町)
九州・沖縄ブロック	「伊倉仁〇加」	伊倉仁〇加保存会	(熊本県玉名市)
在日の海外団体	「インドネシアの芸能」	東京インドネシア共和国学校	(東京都目黒区)

平成19年度(2007年) 第9回全国こども民俗芸能大会

『民俗芸能で広がる子どもの世界～親子でたのしむこどものまつり～』

北海道・東北ブロック	「松前神楽」	神恵内松前神楽保存会	(北海道神恵内村)
	「鹿子躍・鶏舞」	一関市立舞川小学校	(岩手県一関市)
関東ブロック	「滝沢の放歌踊り」	浜松市立都田中学校	(静岡県浜松市)
東京都	「江戸の祭り囃子」	戸塚囃子保存会	(東京都新宿区)
近畿・東海・北陸ブロック	「御殿万歳」	西尾市立西野町小学校御殿万歳クラブ	(愛知県西尾市)
中国・四国ブロック	「御調神楽」	尾道市立上川辺小学校子ども神楽教室	(広島県尾道市)
九州・沖縄ブロック	「島唄・六調」	天城子宝六調バンド	(鹿児島県天城町)
在日の海外団体	「インドの伝統芸能」	コンテンポラリー・ナティヤム・カンパニー	(東京都練馬区)

平成20年度(2008年) 第10回全国こども民俗芸能大会

『民俗芸能で広がる子どもの世界』

北海道・東北ブロック	「南部駒踊」	高館駒踊保存会	(青森県八戸市)
関東ブロック	「いなりっこ」	三浦いなりっこ保存会	(神奈川県三浦市)
	「小田原囃子」	小田原囃子多古保存会	(神奈川県小田原市)
近畿・東海・北陸ブロック	「氷見網起し木遣り」	氷見網起し木遣り保存会子供会	(富山県氷見市)
	「曾爾の獅子舞」	曾爾村立曾爾中学校	(奈良県曾爾村)
中国・四国ブロック	「石見神楽」	高津神楽社中子ども神楽部	(島根県益田市)
九州・沖縄ブロック	「沖端水天宮舟舞台囃子」	舟舞台囃子保存会	(福岡県柳川市)
在日の海外団体	「ペルーの民族舞踊」	日本・ペルー文化実行委員会	(滋賀県大津市)



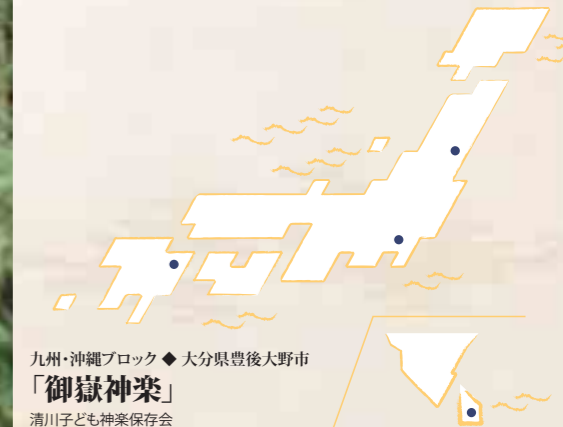
北海道・東北ブロック ◆ 宮城県仙台市
「秋保の田植踊」
湯元の田植踊保存会



在日の海外団体 ◆ 東京都荒川区
「韓国の伝統芸能」 金美舞踊研究所



海外からの招聘団体 ◆ スリランカ民主主義共和国
「スリランカの伝統舞踊」
キャンディ・トラディショナル・ダンス・グループ



九州・沖縄ブロック ◆ 大分県豊後大野市
「御獄神楽」
清川子ども神楽保存会

東京・明治神宮外苑

全会議室(18室)ブロードバンド対応!



- 宿泊 81室(和40・洋29・和洋12)400名
- 会議・研修 大ホール(1,360席)、他18室
- 婚礼・宴会



洋室



和洋室



A-ONE会議室

日本青年館
ホテル

〒160-0013 東京都霞ヶ丘町7-1
TEL:03-3401-0101 FAX:03-3404-0611
<http://www.nippon-seinenkan.or.jp>
E-mail:hotel@nippon-seinenkan.or.jp

富士山麓・山中湖畔1,000mの別天地



- 宿泊 61室(和29・洋30・和洋2)330名
- 会議・研修 10室(18~150名)
- その他 大浴場、中国菜館「湖林」、体育館、
野外炊飯場、駐車場完備



新館洋室



大浴室



ホール



山中湖畔荘
ホテル清溪

〒401-0502 山梨県南都留郡山中湖村旭日丘
TEL:0555-62-0020 FAX:0555-62-4460
<http://www.nippon-seinenkan.or.jp>
E-mail:seikei@nippon-seinenkan.or.jp



制作	記録映像	記録写真	宣伝美術	舞台進行	舞台監督	音響	照明	構成・演出	スタッフ
(社)全日本郷土芸能協会 森下春夫 西田昌代 小岩秀太郎	(有)オフィス・O	松井 聡	松岡拓也(江戸クリエート(株))	賢持真一 加計涼子 鈴木知実	笹生 昭 小野瀬孝志	中村 基	斉藤正雄	(社)全日本郷土芸能協会	

民俗芸能で広がる
子どもの世界

全国こども
民俗芸能大会

第11回



社団法人 全日本郷土芸能協会
〒107-0052 東京都港区赤坂 6-7-14-102
TEL. 03-5545-3413 E-mail. info@jfpaa.jp <http://www.jfpaa.jp/>